

2010年10月12日
アクサ生命保険株式会社

アクサ生命、「ブレックファストチャリティ」による収益金82万円を ろう学校「明晴学園」に寄付

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼CEO:マーク・ピアソン)は、今年6月から9月にかけて「ブレックファストチャリティ」を実施、チャリティによる収益金に会社から同額の寄付金を加算した計82万5,480円をろう学校「明晴学園」(東京都品川区)に寄付することとしました。

「ブレックファストチャリティ」は、クロワッサンとカフェオレの朝食を1口500円で社員にチャリティ販売し、仕入れ値を差し引いた額を支援先に寄付するというもので、2008年以来毎年開催しています。今年はアクサ生命本社と全国約30カ所の営業店で開催し、1000名以上の社員が参加しました。「単にお金を寄付するだけではなく、社員が自ら参加して時間を寄付することで地域社会に貢献する」というAXAグループの社会貢献活動の基本理念に基づいて、役員や管理職が朝食の給仕を行い、社員へ協力を呼びかけました。

「明晴学園」は、日本で初めて「日本手話」と「日本語」によるバイリンガル教育を導入したろう学校です。このチャリティは、アクサ生命で活躍するろうの社員のひとりから、同学園に関する情報提供を受けたことから2008年にスタートしました。アクサ生命は、この寄付金が「明晴学園」のより豊かな教育環境作りに役立てられることを願っています。



本社でのイベントのようす。
給仕するAXAグループ チェアマン兼CEO
アンリ・ドゥ・キャストウル氏



明晴学園の授業や行事のようす

ろう学校「明晴学園」について

「明晴学園」は、2008年4月、日本初のバイリンガルろう教育を行う私立学校として開校しました。これまで日本のろう学校では、日本手話を授業で用いず、補聴器や発声訓練によって日本語での会話習得を目指す授業が行われてきました。「明晴学園」では、耳の聞こえない子供たちは「日本手話」を第一言語として学び、その後「日本語」の読み書きを身に付け、手話と日本語のバイリンガルに育ちます。これによって、聞こえる子供たちと同じように学ぶことができるようになりました。

(URL: <http://www.meiseigakuen.ed.jp/index.html>)

AXAグループの社会貢献活動

AXAグループは、フィナンシャル・プロテクション分野で世界をリードするグローバル企業です。ヨーロッパ、北米、アジア太平洋地域を中心に、世界各国で事業を展開しています。AXAグループは、コアビジネスであるフィナンシャル・プロテクションの延長線上に社会貢献活動を位置づけ、世界各国でさまざまな活動を行なっています。日本では、人生のアクシデントによって困難な状況にある人々をサポートする活動を展開しています。AXAはパリ証券取引所に株式を上場しています。詳細はwww.axa.comをご参照ください。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話:03-6737-7140 FAX:03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp/life>